

# おおしまだより

2012年1月号

「おおしまだより」は、1、4、7、10月に定期発行いたします  
バックナンバーは会計窓口にお問い合わせください

医療法人社団 順江会 江東病院 医療連携室発行  
〒136-0072 東京都江東区大島6丁目8番5号  
電話：03-3685-2166 (代表)  
<http://www.koto-hospital.or.jp>  
E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp

## きめ細かい入院患者食で 栄養改善都知事賞を受賞 —栄養科—



栄養科、左より大沢さん、今堀さん、荻原さん。  
後ろは厨房

この度栄養科は栄養改善に貢献した特定給食施設として栄養改善都知事賞を受賞しました。

栄養科では平成20年度より、完全直営での給食を心がけており、入院患者さん一人ひとりの病状に合わせた細やかな食事の提供を行っております。

毎日の食事を選択できる病院は都内でもそれほどありません。管理栄養士が入院患者さんを訪問し、個別の食事提案も行っています。また、塩分、カロリー、食事形態の制限などにも対応し、できるだけ食べやすく、おいしさを感じられる調理を工夫しています。そして、退院された後の在宅診療へのサポートにも力を入れています。

これからも質の向上を目指し、日々の努力を続けてまいります。



## 防災、トリアージ訓練を実施しました

当院は東京都災害拠点病院として、防災、救急を担当する三浦副院長が中心となり、災害時トリアージ訓練やトリアージ研修会、防災消防訓練を行い、災害発生時のための準備を進めています。



インフルエンザ診断中の防護服を着た医師

当院は、災害時に被災者の収容力を臨時拡大し、ライフラインの機能停止時に応急的な診療を行います。トリアージは災害による被災者を傷病の緊急度や程度に応じ、適切に選別し、搬送・治療を行う事です。

当院は新型インフルエンザ発生時に患者さんを受容する為の専門施設を有しています。

10月15日に新型インフルエンザ発生を想定し、特殊な陰圧テントを屋外に張り、発熱者の選別やインフルエンザ感染の診断、患者さんの搬送などのトリアージ訓練を実施しました。

12月9日には多くの地域住民の方々にも参加して頂き、防災トリアージ訓練として、本番さながらに被災者のメイクをした模擬患者さんを診察、選別、搬送の訓練を行いました。

職員と地域住民が一体となった訓練を今後も定期的に行っていく予定です。



特殊メイクをした模擬患者



トリアージを行うトリアージチーム。患者右手にトリアージカードが付いている



副院長 三浦邦久

### 江東病院 **その** をりをり



当院本館の真ん中をくり抜くように1階天井までライトコートスペースがあります。その空間から内側に面した各病室に明かりが入ります。

更に、1階の天井にガラスの屋根があり、待合室に明かりが入ります。

# 人工関節手術のお話

関節は骨と骨をつなぎ、これを動かすことで歩く、しゃがむ、物をつかむなどの動作を行います。関節の骨の表面は、軟骨で覆われています。軟骨は関節にかかる衝撃を吸収し、関節をなめらかに動かす働きをします。加齢による変性や関節リウマチなどの疾患では軟骨が壊れると、関節の動きが悪くなり、また、骨同士が当たって痛みが出現します。変形性関節症という疾患です。

股関節と膝関節は体重を支え、歩く動作をしますが、この関節が変形すると、痛みのため歩くことが困難になります。変形性関節症の治療には、薬物療法、運動療法あるいは装具療法などがあります。関節の変形が高度で痛みや関節の動きが悪く、日常生活に支障がある場合は、手術も選択されます。



人工関節の手術  
清潔のため、頭にファンが付いた手術着を着用する

変形性関節症の手術法の1つに、人工関節全置換術があります。人工関節は、変形して傷んだ骨を取り除き、人工の関節に入れ替える手術です。この手術により、関節の痛みは大きく軽減します。また、動きが悪くなっている関節は、ある程度の動きを取り戻すことができます。他の関節にかかっていた負担が減って日常生活のできる範囲が広がるため、運動量も増え、筋力の低下をおさえることができます。



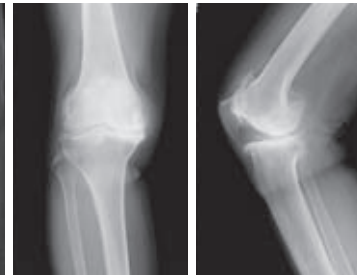
整形外科部長 梶原 一



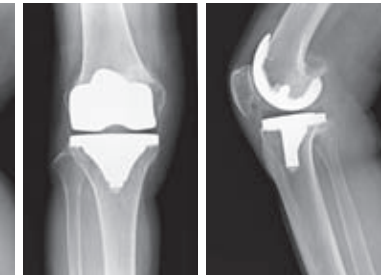
右変形性股関節症  
術前X線写真



右変形性股関節症  
術後X線写真



変形性膝関節症術前X線写真



人工膝関節全置換術後X線写真

人工関節の手術では骨を削るため、ある程度の出血があります。このため当院では、手術の前に自分の血液を貯めて、手術の際にこれを戻す自己血輸血を行っています。手術前に検査を行い、可能な方は自己血輸血を選択できます。手術後は病院で4週間程度のリハビリテーションを行っています。退院後も自宅などでトレーニングを続けることも大切です。

人工関節は金属やポリエチレンなどのプラスチックなどでできています。このため耐用年数があり、現在の人工関節は20年前後とされています。患者さんの状態や手術後の使い方によっても違ってきますが、若



人工股関節



人工膝関節

年者では将来入れ替えの手術が必要になることもあります。また、頻度は多くありませんが、合併症として感染症、塞栓症などが起こることがあります。人工関節手術は、緊急に行う手術ではありません。手術前の説明を良く理解して、医師や家族と相談して決めるのが良いでしょう。

副院長・整形外科部長 梶原 一

## ヒポクラテスの木



ヒポクラテスの木は、紀元前のギリシャの医聖、ヒポクラテスがこの木の原木の下で講義をした事に因んだものであり、世界中の病院に分木されています。寒さが増す中、既にほとんどの葉は落葉してしまいました。葉のあとからは既に次の葉の新芽が育っており、命の力を感じることができるでしょう。入口ロータリー脇の花壇をご覧ください。

# 意外に知らない病院薬剤師の役割について / 薬局



元気一杯な私たちが皆さんのおクスリを守っています！

薬局は本館地下1階にあり、現在薬剤師15名、事務1名の大所帯です。主に調剤と病棟の二チームにわかれており、チーム間で連携をとりながら患者さんへの医薬品の適正な使用を図っています。

当院は外来患者さんに対しては院外処方箋を発行していますので、調剤業務は、主に入院患者さん用に行っています。

調剤は、処方箋に基づいて患者さんのお薬の使い方や処方量が適正かを確認した上で行っています。患者さんに使用している全ての薬の相互作用がないか、重

複していないかを確認しています。入院での注射剤はバーコード認証を行って、薬の誤投与のリスクを減らしています。抗がん剤などのハイリスク薬剤は、チェックシートや薬歴簿等を作成・記録することで副作用や投与期間等を確認しています。その他にも高カロリー輸液の無菌調製・抗がん剤調製・製剤業務等を行っています。一つ一つ気の抜けない作業ばかりです。

当院では全ての病棟に一人ずつ薬剤師が常駐しています。病棟薬剤師は入院患者さんの持参薬や服用の仕方を確認、治療開始後には副作用や薬による相互作用がないかを把握し、医師に対してアドバイスを行い、患者さんの安全を守るよう努めています。

ベッドサイドに赴いて“薬の名前・効能・注意点などの情報”を薬剤師から提供するだけでなく、患者さんからお話を聞くことで、服薬コンプライアンス（ちゃんとお薬をのんでいただくこと）の向上にも取り組んでいます。医師や看護師と常に連携を取りながら、患者さん一人一人に合わせた薬物治療に貢献することが病棟薬剤師の最大の目標です。こうした目標に向かって勉強会を開催したり、学会・研修会等へ参加するなど薬剤師個々の能力開発も積極的に取り組んでいます。

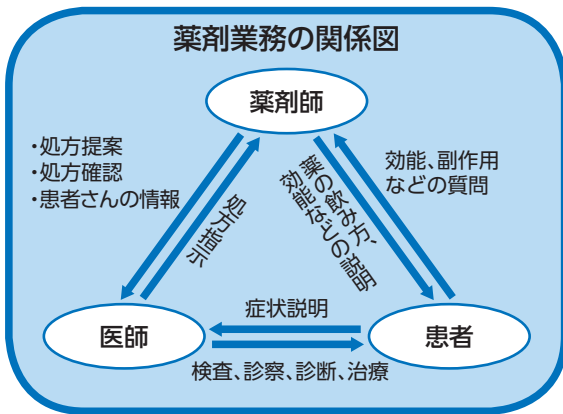
これからも患者さんの安全を第一に考え、医薬品の適正使用に努めていきますので、薬についてお聞きになりたいことがありましたらお気軽に薬剤師におたずね下さい。



安全キャビネット内で抗がん剤を調製中  
2人の薬剤師が相互に確認しあって慎重に作業します



ベッドサイドで患者さんに薬の服薬方法などを説明します

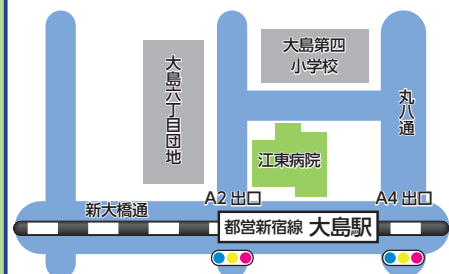


**診療科目** 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科  
腎・高血圧内科 糖尿病内科 膠原病・リウマチ内科  
脳神経内科 小児科 外科 整形外科 麻酔科 泌尿器科  
眼科 耳鼻咽喉科 婦人科 皮膚科 美容皮膚科  
メンタルクリニック 放射線科 血液浄化センター  
外来化学療法室 リハビリテーション科 健診センター

**職員数** 医師：70名、看護師：250名、技師：70名、その他：120名

**関連施設** 東京綾瀬腎クリニック（電話：03-5680-6888）  
介護老人保健施設「かがやきライフ江東」（電話：03-3640-2111）  
認知症高齢者グループホーム「サンライズホーム」（電話：03-3640-2112）  
訪問看護ステーション「たんぼぼ」（電話：03-5627-5820）

**厚生施設** 看護師寮  
院内保育所「すくすくナーサリー」



- 都営新宿線大島下車（出口A2）1分
- 総武線亀戸駅より葛西橋行、東大島行、東陽町行バスで大島駅江東病院前下車
- 駐車場（患者さん料金）：4時間まで300円以降20分毎100円（透析患者さんは6時間まで300円以降20分毎に100円）

# トピックス ア・ラ・カルト

## 公開健康セミナー開催案内



当院では、医師や医療スタッフを講師とした無料セミナーを、毎月第2木曜日と第4土曜日に行っています。皆さんふるってご参加ください。

日程	時間	セミナー名	講師
1月28日(土)	13時30分	床ずれ予防	笹尾医師 (皮膚科)
2月9日(木)	16時	身近にある結核	藤川医師 (呼吸器内科)
2月25日(土)	13時30分	ヒブ、肺炎球菌、髄膜炎ワクチンについて	大島医師 (小児科)
3月8日(木)	16時	皆が知りたいX線知識 —X線、CT、MRI、マンモグラフィー検査—	星野技師長 (放射線科)
3月24日(土)	13時30分	このような時に医療相談を利用します	細野相談員 (医療相談室)
4月12日(木)	16時	高血圧とうまくつき合うには	呉本医師 (循環器内科)
4月28日(土)	13時30分	外来化学療法に関して	仁科医師 (外科)

場 所：本館2階北側待合室 会場の入場は30分前よりです。  
定 員：50名、直接会場にお越しください  
問合せ：医療連携室 電話：03-3685-2166

## 看護師の再就業支援研修を行っています

当院では、東京都の委託事業として、5年前から結婚、育児などで現場から離れていたブランクのある看護師に、1日、5日、7日間の3種類のコースで演習を中心とした看護技術などの再教育を実施しています。注射、点滴や看護技術などの学び直しをおこない、職場復帰への自信と意欲をつける事を目的としています。

実際にこの研修を受講して、再就職した看護師も数名おり、活躍しています。

こうした活動は看護部教育委員会が中心となって行っており、この他、当院の看護師の知識・技術の向上を目的に、新人・中途採用者・リーダー層など段階別の教育・研修・勉強会をも企画・実施しています。看護のレベルアップ、ひとりひとりのスキルアップへと導くことで、より充実した看護を患者さんに提供できることを目標に日々努力しております。

看護部教育委員会 委員長 師長 小澤 優子



### 新任医師紹介(10月~12月入職)

《氏名・診療科・抱負・趣味など》入職順



小児科 榎原麻由子 医師

こどもたちがいつも元気で過ごせるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします！



循環器内科 平野悌志 医師

循環器が専門ですが、全人的な医療の提供を心がけて診療致します。  
趣味：マラソン、サッカー

### 退任医師

富岡有紀子 / 臨床研修医

五十嵐鮎子 / 小児科

田谷圭介 / 脳神経内科

## 医療連携のご案内

診療予約・その他の相談  
検査予約 (MRI, CT, X線, 超音波)

江東病院 医療連携室

電話：03-3685-2166 (代表)

FAX：03-3685-2766

E-mail：renkei@koto-hospital.or.jp

### 健診、人間ドック、その他オプション検査の予約

健診センター：03-3685-2281 (直通)

平日・土曜/午前 8:30~12:00 平日/午後 13:00~16:45

### 診療受付時間

		午前	午後
初診受付	平日	8:00 ~ 11:00	11:35 ~ 15:00
	土曜日	8:00 ~ 11:00	休診
再来受付	平日	8:00 ~ 11:30	11:35 ~ 15:30
	土曜日	8:00 ~ 11:00	休診

### 休診日

日曜日・祝日・第2土曜日

年末年始、創立記念日

休日、時間外の救急は来院前にお電話ください

電話：03-3685-2166 (代表)